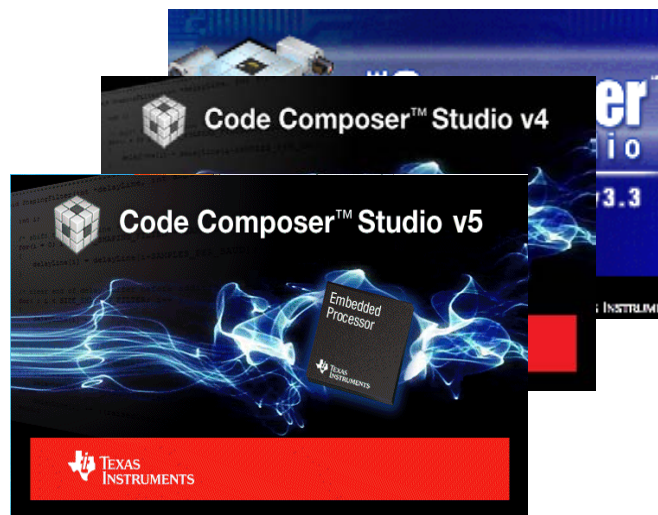


# スペクトラムデジタル社 XDS510USB PLUS Code Composer Studio 用ドライバ インストールガイド

第 4 版 2013.12



株式会社 ロイノス DSP 開発ツール

Tel 053-762-3681 Fax 053-762-3682

URL : [www.roinos.com](http://www.roinos.com) Email : [tool@roinos.com](mailto:tool@roinos.com)

複製禁止



## 目次

1. まえがき.....	1	6.2 メーカー提供のデバイスドライバを使用し た例.....	6
2. システム要件.....	1	7. XDS510USB PLUS の認識.....	6
3. 取り扱い上の注意事項と保証期間.....	1	8. CCS セットアップに関する役立つ知識.....	7
4. 梱包内容.....	2	8.1 SD Config の設定.....	7
5. Code Composer Studio のインストール.....	2	8.2 GEL の利用 (CCS Ver3.x 対応のため) .	7
5.1 CCS Ver4 または Ver 5 の場合.....	2	8.3 DSK 用のパッチ.....	7
5.2 CCS Ver4 アップデートソフトの入手.....	4	8.4 マルチコアプロセッサについて.....	8
5.3 CCS Ver3.3 の場合.....	5	9. Setup CCS.....	8
6. セットアッププログラムの実行.....	6	9.1 CCS Setup CCS.....	8
6.1 概要.....	6		

9.2 CCS Setup を import で行う (CCS Ver3.x)	10
10. 汎用的ボードの具体的設定	10
10.1 DSK C6713 の場合	10
10.2 DSK C6416 の場合	10
10.3 EVM DM642 の場合	11
10.4 EVM 6201 / 6701 の場合	11
10.5 DSK C5416 の場合	11
10.6 DSK C5510 の場合	12
10.7 eZdspF28335 の場合	12
10.8 eZdspF2812 の場合	12
10.9 eZdspLF2407 の場合	12
10.10 eZdspF2808 の場合	12
10.11 OMAP5912 OSK の場合	13
10.12 EVM DM6446 の場合	13
10.13 DSK6455 の場合	14
10.14 EVM6437 の場合	14
10.15 C672x の場合 (EVM 6727 の例)	14
10.16 EVM DM355 の場合	14
10.17 EVM OMAP 3530 の場合	15
13. CCS Ver4 または Ver 5 の使用方法	16
13.1 CCS のインストール	16
13.2 デバイスドライバについて	16
13.3 XDS510USB の認識	16
13.4 Target Configuration	16
13.5 接続について	18
14. 故障対応	18

## 1. まえがき

スペクトラムデジタル社エミュレーションシステムとテキサス・インスツルメンツ社 Code Composer Studio を組み合わせて使用することで実機のエミュレーションを行うことができます。

### 仕様

テキサス・インスツルメンツ社の TMS320 ファミリーをサポートしています。システムの特徴は次の通りです。

- ▲ C6000,C5000,C2000,ARM,OMAP,DaVinci のエミュレーション。
- ▲ USB 1.0, 1.1 , USB2.0 ポートでの使用
- ▲ 1.8V~5V のターゲット I/O 電圧に対応

本書では Code Composer Studio を CCS、テキサス・インスツルメンツ社を TI と称する場合があります。

## 2. システム要件

本書は、スペクトラムデジタル社のエミュレータ XDS510USB PLUS と TI の CCS、JTAG 接続の DSP ターゲットボードを使用する方を主な対象としています。ホストパソコンに必要な条件ものは次の通りです。

- ▲ Windows Vista / xp / 2000
- ▲ USB 1.0, 1.1 , USB2.0 ポート 1 個
- ▲ CCS Ver3.3 以降

## 3. 取り扱い上の注意事項と保証期間

製品は、実用性を踏まえつつ、設計されておりますが、機構上長期間に渡る機械的負荷で損傷を受ける個所がございます。製品を長期にわたって安心してお使いいただけますよう、製品には**機械的衝撃を与えない、ケーブル部に機械的応力(張力、荷重、ねじれ力)をかけない**ようにお願いします。**JTAG ケーブルで POD 本体をぶら下げて使用すると JTAG ケーブルの痛みが非常に早くなりますのでおやめ下さい。**

ターゲットの電源とホスト PC の電源はできるだけ近くからとり、フレームグラウンドの電位差が発生しないようにして下さい。電位差がある状態で JTAG の端子を挿抜しますと、機器が破壊されるおそれがあります。また、大電流を扱う機器、力率の悪い機器と AC を共用する環境では、フレームグラウンドの電位差による**循環電流を流さない**ようにホストパソコンとターゲットボードのグラウンドは**POD とは別に導線で常時接続**することをお勧めします。

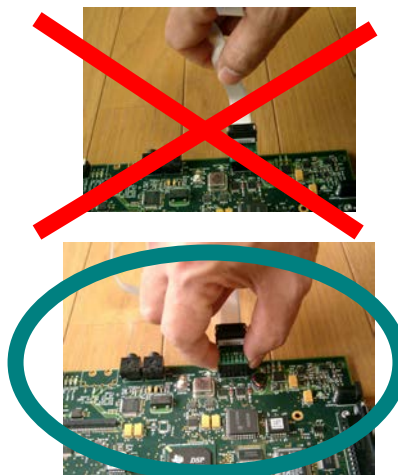
また、製品の保証期間は一年間で、その期間内に正常な使用状況において故障した場合には修理は無償です。

その期間を過ぎた場合には実費の修理となります。もし敢えてサポート無しの条件で購入された場合には保証は付きません。

ロイノスでは 1 年を超えた後でも、有料にて年間サポートを承っております。詳しくは弊社の web あるいは営業までお問い合わせ下さい。

製品の構造上、JTAG コネクタの部分の接続が割と弱く、コネクタの挿抜の際にケーブルを引っ張るとコネクタ内部で接触不良が起き、CCS の動作が不安定となります。

かならず JTAG コネクタのシェルをつまみではずすようにしてください。



(使用した写真のコネクタは XDS510USB ではございません)